

応募される皆さま
指導していただく皆さま

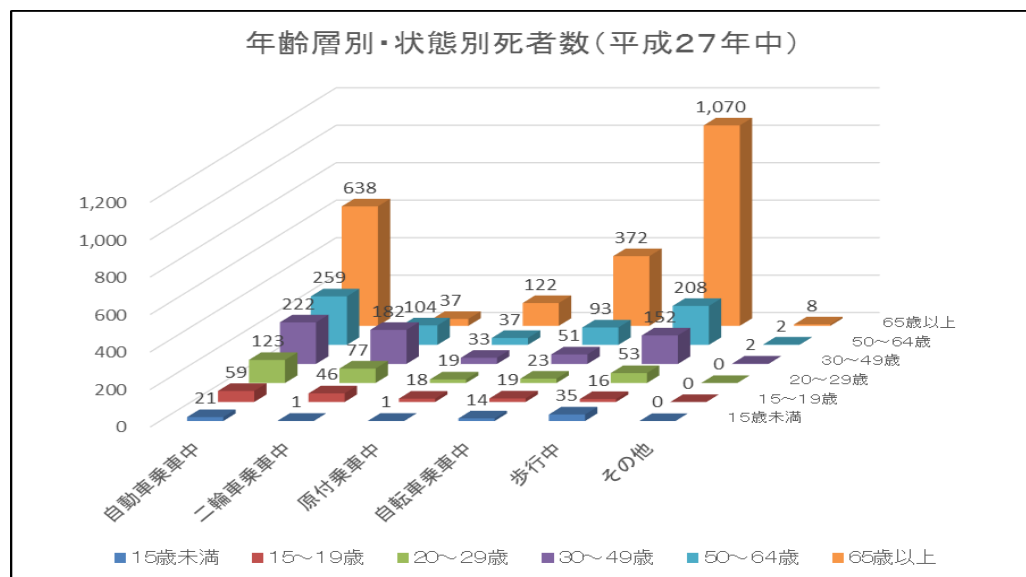
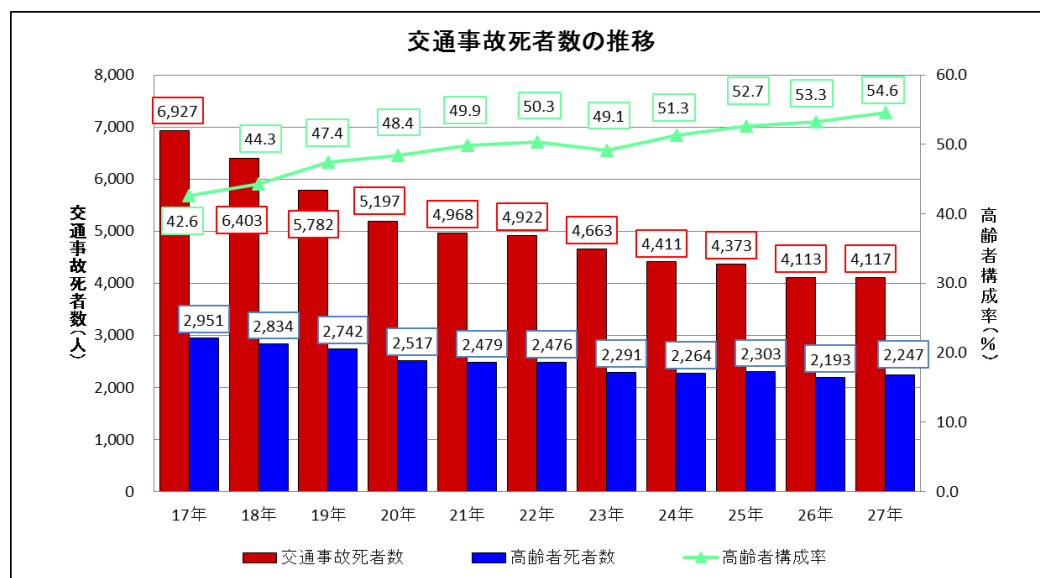
交通安全年間スローガン作成にあたって

◆ 交通事故を撲滅するために

「交通安全年間スローガン」は「交通戦争」という言葉が使われるほど事故死者が深刻な社会問題になってきた昭和40年度に募集が始まりました。

警察庁の統計では、平成27年の事故死者数はピークだった昭和45年の4分の1以下に減ったとはいえ、4,117人ももの尊い命が奪われています。死亡者の中で、特に高齢者の割合が54.6%と過去最高になっています。

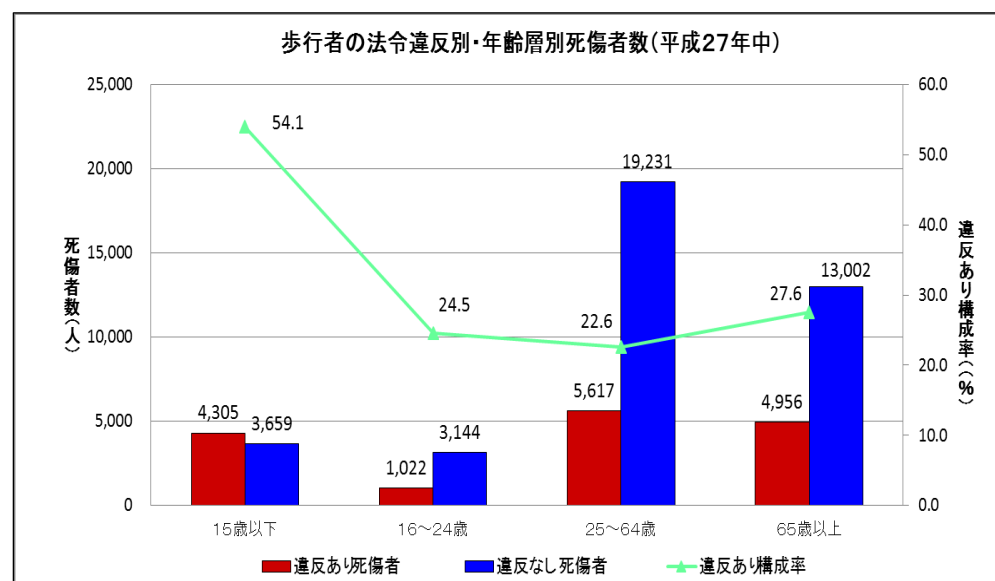
交通事故で亡くなったり、負傷する人を少しでも減らすにはどうすればよいか、その思いをスローガンに託してご応募ください。また、快適に歩行したり、車や自転車を運転するためにはどうすればよいか。そのような呼びかけも発信してください。



最近の交通事故はどのような状況で起きているのか。それを警察庁と全日本交通安全協会が分析してまとめたものが、「重点スローガン」です。例えば、一般部門B＝歩行者・自転車利用者へ呼びかけるもの＝の最初に「高齢者の交通安全（正しい横断など）」があるのは、昨年歩行中に交通事故で亡くなった1,534人のうち約7割にあたる1,070人が高齢者だったという現実の重みを踏まえたものです。

歩行者の死傷者数を歩行者側の法令違反の有無別でみた場合、高齢者の27.6％に違反が認められ、15歳以下の子供では54.1％に違反が認められています。

また、高齢者では横断歩道外横断や走行車両の直前・直後横断等の道路横断時の違反の割合（16.0％）が高く、15歳以下の子供では飛び出しの割合（27.9％）が特に高くなっています。



平成27年中の自転車関連事故件数は9万8,700件で、そのうち対歩行者事故件数は2,506件であり、いずれも近年減少傾向となっています。

